

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

実施期間：令和4年2月24日～3月4日
対象者：職員4名

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | | | ・定員対して広さがある。また個室の存在が大きく個別の対応が出来ている。 ・室内をパーテーションなどで区切る事で活動への集中や落ち着きに繋げている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 3 | 1 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 2 | 1 | 1 | 実施はしているが、日によって参加できていない職員もいる。引継ぎを行えていない場合もあった。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 1 | 3 | | 今より研修の機会を多くしていく必要あり |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | ・計画についてははしらされていない。利用児の支援に対する目標が分からない。 ・保護者迎えや学校迎えの際にこまめに利用児の様子を聞くことで柔軟に対応出来ている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | 1 | | 左記に加えて対応職員でいつでも確認できるようになっており共有しやすい工夫がされている。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | 1 | | 毎日の活動が決まっている中で状況に応じた変更や意見交換がしやすい環境になっている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 1 | 3 | | ・物品の購入も含め、活動プログラムの拡充していく必要あり。 ・同じになってしまうので幅を広げたい。 ・季節や行事に合わせた活動提供がされている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | | 1 | 状況に応じた活動を提供し利用児達の笑顔を見ることが出来た。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | ・作成しているか分からない。話も上がってこないで、情報の共有が出来ていない。打ち合わせをしておらず、支援の内容の明確さが欠けている。 ・特性に合わせて少人数での活動提供をする等工夫がされている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | | 1 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | | 1 | ・実施している。もっと多くの職員と共有していかなければいけない。 ・口頭のみでなくホワイトボードを使用し視覚的にも誰でも分かるようになっている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | 1 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 3 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | 1 | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 3 | | 1 | 対面での情報共有と合わせて必要に応じて電話連絡などを行っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 2 | 1 | 医療的ケアが必要な利用児の利用はなし 整えていない 未回答1 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 1 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 1 | 2 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 3 | コロナ渦の為交流はしていない未回答1 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 2 | 1 | 1 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 1 | 1 | 2 | ペアレントトレーニングは実施しておらず。 |
| 保護 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 2 | 2 | | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | 1 | | ・保護者の送迎の際に自宅で起こった事、週末にあった事を聞き、必要な助言を行う事で一定の信頼関係を築く事が出来ている。 ・連絡帳での相談対応や面談を設けて対応している。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | 4 | 特段事業所側からの働きかけはしていない。 |
| 非常時等の対応 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | 1 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | | 発信はしている。季節毎に発信し保護者の楽しみとなるようにしたい。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 4 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 2 | 1 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | | 1 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | 1 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 1 | | 単独、1人の職員のみで支援負担がないように配慮されている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | | | 初回アセスメントにて確認を行っている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 3 | | 1 | |